



ホタルを育ててみませんか

ほたる飛び交う中地区をめざす運動の会会長 森田 弘

例年のない寒い春、そして長雨、突風のあったゴールデンウィークと天候不順でしたが「ほたるを観る会」が開催される頃にはほたるが飛び交うことを願っております。また、寒さのために心配されていた麦の成育も回復し、ほたる籠作りができることを望んでおります。今年にはビオトープ内のほたるを観賞後、ほたる籠にほたるを捕獲し自然に帰す試みをしたいと思います。自然に飛んでいるほたるで2度の感激を味わってください。

このような活動や中小学校児童そしてほたる飛び交う中地区をめざす運動の会の夢「巴波川にほたるを甦らせよう」を実現するためには多くのほたるが必要です。

ほたるの飼育をする方を募集します。飼育の道具は提供し、ほたるの飼育方法の勉強会を定期的に開催します。ぜひ参加してください。多くの方がほたる飼育に参加すれば、巴波川にきっとほたるが飛び交うと思います。

自治会・PTA・学校・中公民館・ボランティアの多くの皆様の協力を得てこの会も益々盛んになることを期待しております。

よろしく願います。

田んぼとほたるの一年

中小学校長 佐藤 茂男

平成13年に小山市教育委員会から「田んぼの学校」の指定を受け始まった田んぼの活動。同じ年に当時の5年生が、中地区には昔たかさんのほたるが飛んでいたことを知り、「巴波川にほたるを甦らせたい」という思いからほたるの活動も始まり今年で12年目をむかえました。

中小学校の一年間は、この「田んぼとほたる」の活動を中心に動いていると言っても過言ではないような気がします。

5月初旬に田植えをし、6月には「ほたるを観る会」が行われ、9月に稲刈りと脱穀をします。昨年は収穫したお米を「えのき祭」でカレーライスにしてたべ、お世話になった方々にも食べていただきました。また、大震災で被害のあった宮城県の上郷に30kgのお米を子どもたちの気持ちを添えて贈りました。年が変わった2月には、ほたるの幼虫放流式を行いました。今年もほたるが美しく飛ぶ姿を見せてくれることでしょうか。このように田んぼとほたるの活動が一年中続いています。

その度に、多くの来賓の方や地域の方々が来てくださり、子どもたちに励ましの声をかけてくださったり活動に協力に協力してくださったりしています。ありがとうございます。

上陸に備えて 土入れ作業 3月24日(土)

ほたるの幼虫は、水温が高く温かくさらに昼間の長い春という季節の変化を感じ取り、水から上陸してあたらしい棲みかを探し、「さなぎ」になる準備をします。それに合わせ、ビオトープでは「土入れ」作業をして幼虫の棲みよい場所づくりをしました。まずは水辺付近の固い土を掘り起こし、さらさらした畑用の土をそつとかぶせて上陸した幼虫がもぐりやすくしました。



ここを棲みかとして幼虫はさなぎから成虫(ほたる)となっていくます。

作業にあたったボランティアアさんは二十数名、六月八日の「ほたるを観る会」までにはこのような諸々の準備が必要とされ、その度に大勢の方々が来て下さいます。

この人たちのおかげで今年もたくさんのほたるが美しく飛び交うことでしょう。本当にありがたいことです。

一口メモ×2



カワニナ

カワニナのメスは自分の殻の中に卵をかえし小さな子貝(卵胎生・1ミリ程)をたくさん産みます。5月ごろから秋にかけて子貝をうみ始めます。

水温が7度以下では子貝をうみません。夏のころは1日に約20匹1年間で約3,000匹もうむとされています。

川の中では小さなカワニナの幼虫が育っている中で、ちょうど卵からふ化したばかりの小さなほたるの幼虫でも入っていくことができるのです。自然の仕組みのすばらしさに驚かされます。

発光は言葉

ほたるのオスは光るものをさがして、それがメスでなくても近づきますが、約1メートルそばに近づいたときに相手がメスかどうかを判断してさらに近づいて(15~20センチ)とまってから歩いてメスのところへ行きます。

そこで発光を繰り返し自分の存在を知らせます。これがプロポーズの言葉なのです。

メスが発光して応えればメダシメダシ。メスが発光しなければ何回も「フラッシュ発光」を続けます。そのうちにメスが離れてしまいます。

闇間を飛ぶほたるはこのように光りを交信して言葉を交わし、次世代を残してきたのです。

田んぼで咲いたふれあいの輪 ~ 5月6日 中小で田植え ~

1年

早く田植えをやりたくて、うきうきわくわくしました。

どろがぬるぬるしてきもちよかったです。

6ねんせいになえのうえかたをおしえてもらったのでじょうずにできました。



2年

田うえをしました。

田んぼの中をあるくのは、あしがおもくてたいへんでした。でも、5年生がたすけてくれたのでだいじょうぶでした。

3年

ぼくは田うえをしました。下のどろがぬかるんで前にすすむのがむずかしかったです。

なえをさしこむとき、こしをひくくするのでころびそうになりました。

さいごに麦茶をのみました。おいしかったです。

ほたるの幼虫を放流しました！

去年6月の「ほたるを観る会」の後ボランティアさん達が自宅で1年間もの間育てた、卵からかえったばかりの1ミリ足らずの小さな幼虫が育ち、これからさなぎに、ほたるに変身しようとしています。

2月15日（水）の昼休みに小山市教育長酒井一行様をご臨席されて放流式が行われました。「ほたるの会」森田弘会長さん、新井幸男さん、増田博利さんのご指導で5年生がほたるの幼虫を3匹ずつカップに入れて準備しました。式典後、学年ごとに願いを込めて放流しました。

「ほたるを観る会」の後ボランティアさん達が自宅で1年間もの間育てた、卵からかえったばかりの1ミリ足らずの小さな幼虫が育ち、これからさなぎに、ほたるに変身しようとしています。

願いを込めて
四年



みんなを感動させてね



5年

幼虫を放流した時、元気に育ってねとお願いしながら放流しました。放流した幼虫が何匹大人になるかわからないけれど、私たちが願いを込めて放流した幼虫はほたるを観る会でたくさん光ってみんなを感動させてほしいです。ほたるを観る会が楽しみです。

二月の放流式のほたるの幼虫は、まるまわってまだ飛べなくてほしいようぶかなどいつも心配になります。でも六月になると成虫になってたくさん飛んでいます。今年もきれいに光って飛んでいてくれることを祈っています。

今年も見たいな
四年

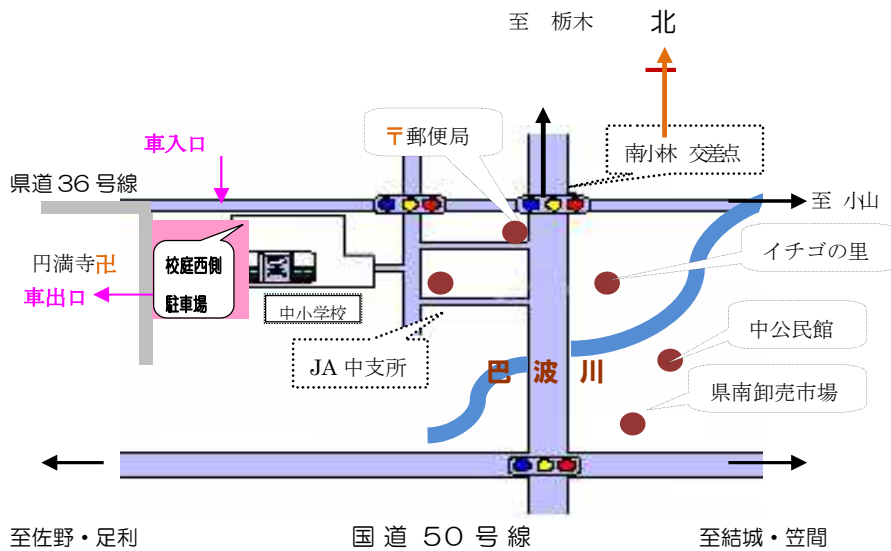
ほたる飼育ボランティアさん 募集します！

水槽・カワナ・幼虫その他、会の方で用意します。希望の方は御連絡ください。 連絡先 中小学校 … 38-0649

ほたるを観る会

★ 6月8日（金） ☆ 6月9日（土）
式典 18:00～18:40 観る会
イベント 18:40～ 19:30～21:00
観る会 19:30～21:00

皆さんお誘い合わせて観に来てください。



入口（北側県道から）
・「観る会」のため午後7時～9時の間はなるべく車の出入りはしないようご協力ください。
・車は、**西向き** <ビオトープを背にして>駐車してください。
【ほたるは、明るさを嫌います。】

出口（駐車場西側から）
夜店…前 PTA 役員・中地区育成会の方々・道の駅「美田の里」の方々の御協力により
< アイスクリーム・フランクフルト・焼きそば・稲荷寿司 おにぎり・芋フライ > … お楽しみに！

「ほたる飛び交う中地区をめざす運動の会」を支える方々

会長 森田 弘

副会長 ・須賀 秀吉 ・佐藤 茂男
・栗原 要子 ・大森 利男

ボランティア <順不同>

- ・新井 幸男
- ・青木 新市
- ・神山 芳典
- ・玉野喜一郎
- ・藤野 貞和
- ・谷田貝 進
- ・小川 友一
- ・井岡 正三
- ・渡辺 光
- ・須藤 文夫
- ・松本 生男
- ・荒川 栄
- ・荒川 廣一
- ・古口 忠男
- ・黒須かな子
- ・荒井 淑恵
- ・松沼 由美
- ・小暮 米作
- ・増田 博利
- ・諏訪 信栄
- ・熊倉 弘
- ・神山 和男
- ・塩田 忠男
- ・中見川一男
- ・小林 一大
- ・湯本・正義
- ・大橋新太郎
- ・五十畑覚一
- ・谷田貝 實
- ・松井 正弘
- ・田中 房雄
- ・須賀 幸江
- ・前田 秋子
- ・田波耕太郎
- ・大出 昌男
- ・青山 敏光
- ・神山 宜久
- ・黒須 孝次
- ・神山 典夫
- ・古村泰治郎
- ・小林 正雄
- ・速水 勝夫
- ・小川 三次
- ・中澤 成公
- ・増田 眞司
- ・松本 和己
- ・仲木 照美
- ・小川 眞美
- ・塩田 正典

事務局 田澤 均 大熊 幸子

＝編集後記＝

「うずまのほたる」第17号発行にあたり多くのご協力をいただき感謝いたします。今年も関係行事の時には、写真やメモなどの資料収集に努めていきます。今年もたくさんのおほたるが飛び交いますように。

—うずまのほたる— 広報班

神山 芳典・神山 宜久・田波耕太郎・松沼 由美・小川 眞美
前田 秋子・荒井 淑恵・田澤 均・大熊 幸子